

パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報

2018年2月1日 173号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護



パクーの人工孵化に向け、優れた親魚を選び出す。



エビの塩水養殖研究のための水槽

エビの塩水養殖研究のための水槽
エビの養殖は、パクーよりもハードルが高くなりますが、市場が広く、経済効果が大きいことから、レダ基地スタッフも熱い想いと強い決意で臨んでいます。

**パクー養殖の成功を踏まえ、
レダの地下水でエビの塩水養殖へ！**

パクーは、例年十二月から一月にかけて、繁殖シーズンを迎えます。レダ基地では、二〇一二年十二月三十日、チャコ地方で初めてのパクー人工孵化に成功して以来、今季で六年目を迎えました。一月十五日時点で、既に三十万匹の孵化を成し、養殖とパラグアイ川への稚魚放流とに向けて、順調に進行しています。

このプロジェクトは、国立アスンシオン大学獣医学科のマグノ教授の指導を受けて(本紙一三三号参照)、稚魚の養殖から始まり、人工孵化へと完全養殖の道が開けました。同教授が「私の最も優秀な学生」と呼んだ、中田実所長を中心とするレダ基地スタッフ。その献身的な取り組みにより、高度の投資を必要とする設備を用いることなく、人工孵化のノウハウを確立したものです。今季の孵化も、マグノ教授の不在に着々と実行しました。同大学では、レダ基地においてIDタグを打った放流魚の追跡調査を進め、パラグアイ川におけるパクーの生態を解明しようとしています。

パクー養殖の基礎技術の習得を踏まえ、今季はエビの養殖研究に本格的に取り組みます。汽水域での成長が不可欠な種を、パンタナールの地下水で養殖しようとするものです。二〇一六年にレダ基地で大学のインターンシップ生として、その基礎研究を行い、卒業論文を書いた奥迫孝顕さん(本紙一五九号参照)が、夫人を伴って、この一月にレダに赴き、全面的な研究に取り組みます。また、私たちのパラグアイ人と相互交流協力協約を結んだ、韓国の鮮文大学校水産生命医学科(本紙一六七号)の教授も同行します。マグノ教授は稚エビ約千匹を携えて、レダ基地に来る予定です。



奈田氏(後列右)と中村氏(前列左)を見送る基地スタッフ。12月18日



レダ基地では

生命力に満ちたパクーから卵を採取する。12月16日



牧童のシストさんと夫人。



カピバラランドの排水溝工事。1月6日



パクーの受精卵を孵化器に入れる。12月16日



アルバニアからエンテラさんがレダ基地を訪問。



カトルセ・デ・マジョ村を訪問。私たちが建築・寄贈した学校の前で。



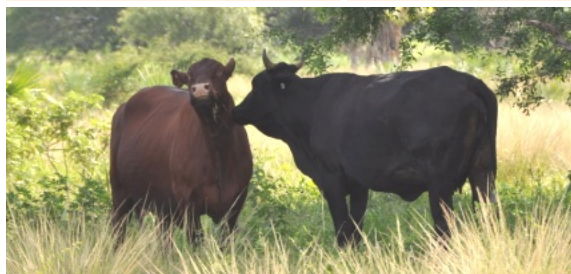
完全防備のビクトルさん。



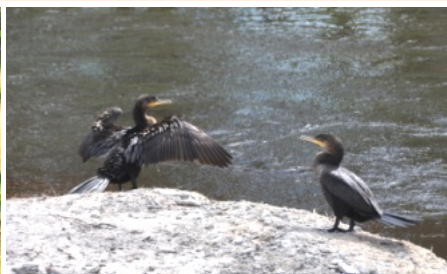
アキダバンに乗るエンテラさんを見送る。1月5日



開墾体験をするエンテラさん。



雌牛(右)が雄牛に求愛する。某年2月14日



ナンベイヒメウの雄(左)が雌に求愛。



自由に歩き回るレアたち。1月6日

大セミ♂

大セミ♂

大セミの他に、バッタ、チョウ、ガ、タガメ、クモなど、びつくりするほど大きい虫が、パンタナ

小セミ♂

によつて、まじまじと観察することができる。

小セミ♂

に口ばしを皮膚に立てようとする。なかなか刺さらないが、かなりチクチクと痛い。皮膚に穴が開くまで続けるのかもしれないが、血を吸われるのはいやだし、逆に何かを注入されたら危ないので、ここで実験は終りとする。(小田記)

第四期定時総会を開催、全議案を承認

十二月二十四日、午前十時より、神奈川県川崎市の大山街道ふるさと館二階イベントホールにおいて、一般社団法人南北米福地開発協会の第四期定時総会が開催されました。まずはじめに戸石文夫理事により、この総会は、出席した会員数と委任状数を合わせた数が会員総数の過半数を超え、本法人の最高決議権を有する総会として成立したことが確認されました。



挨拶する中田代表理事

次いで総会議長の中田欣宏代表理事より、第四期（平成二十八年十月一日から同二十九年九月三十日）の事業報告および決算報告がなされ、出席者の多数をもって承認されました。引き続き同代表理事により、第五期（平成二十九年十月一日から同三十年九月三十日）の事業計画および収支予算案、これらも同時に承認されました。



第四期定時総会にて、中田欣宏代表理事（右）と総会参加者たち。（12月24日）

最後に高橋昭三監事が、これらすべての報告の内容が事実を適切に反映していることを認められ、第四期総会が終了しました。

第十六回パンタナール一日特別研修会（案内）

お待たせしました。本年最初のワンデイセミナーを、左記の要領で開催します。心弾む、春の真ただ中、ご家族や友人を誘うとても好い機会です。

日時 四月十四日（土） 十時受付、五時終了予定

会場 国立オリンピック記念青少年総合センター国際棟二階セミナー室（小田急線参宮橋駅徒歩七分）

参加費 二〇〇〇円（昼食を含む）

参加を希望される方は、応募用紙に必要事項をご記入の上、ファックスまたはメールで、下記の当法人事務局宛てお申し込みください。（応募用紙請求も）



野外講義（2017年4月8日青少年総合センター庭）

主催 一般社団法人 南北米福地開発協会
共催 NPO法人地球の緑を守る会
プログラム（予定）
●「南米レダプロジェクトの現状と理想郷建設」講師・柴沼邦彦氏（当法人理事）
●「地球環境問題の今とその方策」講師・高津啓洋氏（NPO代表）
●レダ基地活動のレポート 若干名



名古屋市・河村寿美慧さん(77)から。

一般社団法人 南北米福地開発協会 事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15

岩崎ビル4F

電話：044-829-2821

FAX：044-829-2820

ゆうちょ銀行（旧一般会員会費納入）

記号10280 番号61349751

一般社団法人 南北米福地開発協会

E-メール：office@asd-nsa.com

ホームページ：asd-nsa.com

会員種別

◆会員一口1000円／月

◆特別会員一口1万円／月

◆法人会員一口1万円／月

※いずれも口数は申込者が申告

会費は、毎月の引き落とし方式です。

会費振替用口座 ゆうちょ銀行

00290-5-113072

加入者名：シャ）南北米福地開発協会

入会申し込みと同時に手続きをお願い申し上げます。それが確認でき次第、会員番号を確定し、ご案内いたします。

♥入会申込書は、左記の事務局にお申しつけください。ホームページからも入手できます。

お便り募集



アカヘリタテハ

読者の皆様からのお便りを募集します。本紙記事へのご感想や提案、皆様個人やご家庭での歩み、あるいはグループや支部での活動と関連写真、イラストなどをお待ちしています。宛て先は、事務局

office@asd-nsa.com

へお願いします。